

## ■マンツーマンコミッショナーの配置と役割

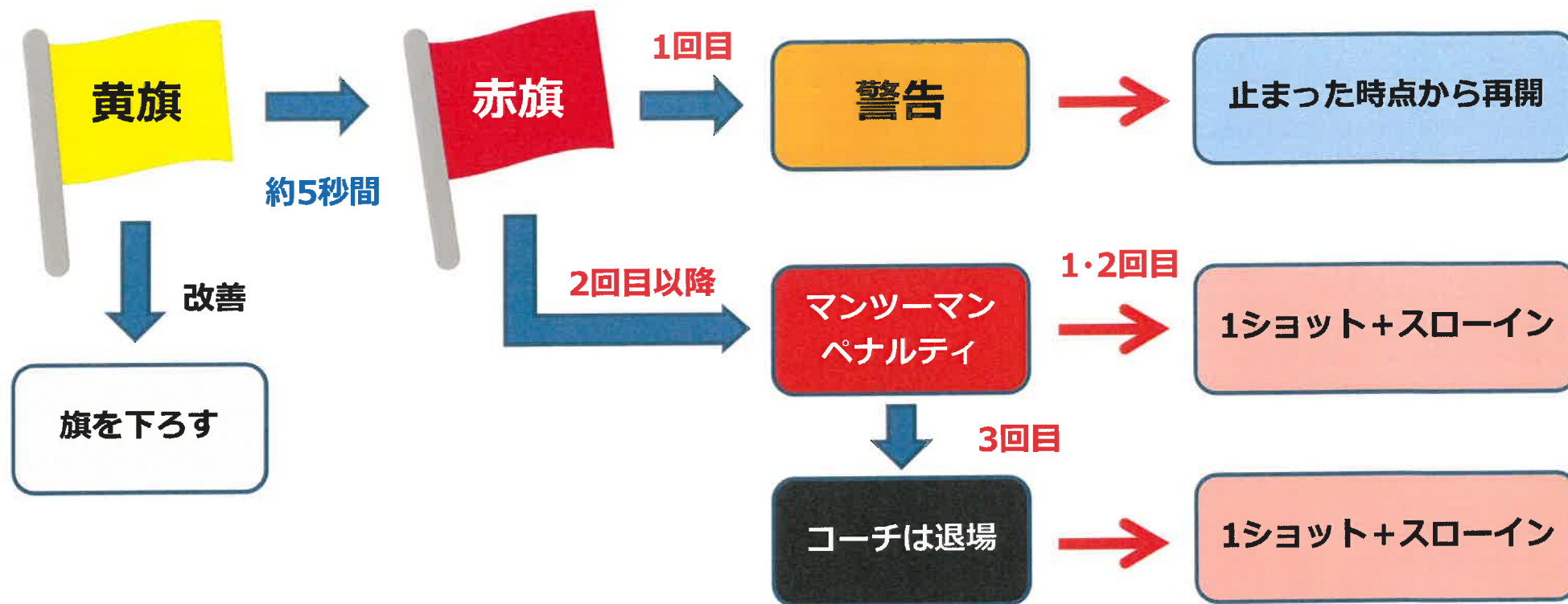
- ① 本大会は「マンツーマンディフェンスの基準規則」に基づいて実施されます。
- ② マンツーマンコミッショナーは各試合1名とし、TO席の後ろに配置します。(赤い腕章着用)
- ③ 判定はマンツーマンコミッショナーが行い、罰則の処置は審判が行います。

## ■マンツーマンディフェンスの基準規則による判定と処置の概要 \*次ページ「フローチャート」を参照

- ① 違反が認められた際は「**黄旗**」を上げます。改善されたら、「黄旗」は下ろします。
  - ② およそ5秒の間に改善されなかった場合は「**赤旗**」を上げます。
  - ③ 「赤旗」が上がったら、次にボールがデッドになったとき、あるいはボールのコントロールが変わったときに、ブザーを鳴らしてゲームを止め、「**警告**」を与えます。
    - ◆ 1回目の警告のあとは、ゲームが止まった時点から再開します。
    - ◆ 2回目以降の警告のあとは、審判から「**マンツーマンペナルティ**」が宣せられ、相手チームに**1本のフリースローとスローイン**が与えられます。
  - ④ コーチに3回のマンツーマンペナルティが記録された場合、当該コーチはベンチから退場となります。
    - ➔ ルールでは「更衣室や建物の外に出る」ことになっていますが、**フロアや観客席以外の試合が見渡せない場所**として、試合終了までロビーやエントランス等で待機していただくこととなります。
- ※マンツーマンペナルティはチームファウルに数えず、インテグリティによるテクニカルファウル等との合算もしません。

**本来、止めるべきタイミングで、何らかの理由でブザーが鳴らせない場合は、次にボールがデッドになった際、審判とマンツーマンコミッショナーが協議し、審判が再開方法を判断します。**

※詳細は、「マンツーマンディフェンスの基準規則」および関連資料を参照。



### 赤旗から処置まで

